

計画における項目	実施内容	担当課	平成29年度 (計画策定時)	令和2年度実績 (中間報告年度)	令和2年度 達成状況 (中間報告年)	目標値 (令和5年度)	令和2年度 実施状況に関する担当課の評価
基本施策1 地域におけるネットワークの強化							
吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の開催	吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の開催数	地域保健課	1回	1回		2回以上	9月30日に1回目を実施。2回目を実施予定(1月27日)であったが、緊急事態宣言の発令によりやむを得ず中止した。
吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の参加機関	吹田市自殺対策推進庁内会議実務担当者会議の参加機関数	地域保健課	4機関	3機関		3機関以上	吹田市・吹田市教育委員会・社会福祉協議会が参加。中核市移行に伴い、府保健所が吹田市に移行したため3機関となった。
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成							
市職員に対するゲートキーパー研修の実施	市職員向けゲートキーパー研修の開催	人事室 地域保健課	2回	未実施		3回以上	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により未実施
様々な分野におけるゲートキーパーの養成	関係機関向けゲートキーパー研修の開催	教育センター 地域保健課	2回	2回		4回以上	大和大学、小中学校教員に実施。新型コロナウイルス感染症の影響により不安を感じる子供への対応として必要性を感じた。
基本施策3 市民への啓発と周知							
リーフレットやポスターなどの作成・配布	各種相談窓口などを掲載したリーフレット等の常設	地域保健課	4箇所	143箇所		128箇所以上	令和元年に常設目標達成済み。啓発リーフレットを新たに3種作成した。
リーフレットやポスターなどの作成・配布	各分野に合わせた自殺対策啓発リーフレットや啓発媒体の配布	地域保健課	なし	118箇所		108箇所以上	令和2年度の51か所に加え、新たに67か所配布。
インターネットを活用した情報の提供	自殺対策の啓発情報の発信	地域保健課	2回	10回		12回以上	ホームページ更新を5回、SNSでの情報発信4回、大学イントラネット配信を1回実施した。
自殺対策関連の講演会・イベント等の開催	市民向け自殺対策関連講座の開催	地域保健課	1回	未実施		2回以上	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により実施が困難であった。
自殺予防週間と自殺対策強化月間での啓発	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせた市報やホームページでの啓発記事の掲載、懸垂幕の設置等	地域保健課	実施	実施		継続実施	自殺対策強化月間においては、庁内会議担当室課と協働し、自殺に関連する幅広い分野の啓発リーフレットの配架。また市報掲載やSNS(TwitterやFacebook等)による情報発信、本庁舎ロビーにおけるパネル展示及びリーフレット配架等を実施。
図書館における生きる支援に関する図書コーナーの設置	図書館における生きる支援に関する図書コーナーの設置	図書館	なし	2回		年2回	各図書館でそれぞれの所蔵資料を展示する特設コーナーを設置し、いろいろな図書を見ていただくことができた。(9月、3月に実施)
基本施策4 生きることの促進要因への支援							
自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進	ストレスを常に感じている人の割合※1	保健センター	男性 6.0% 女性 9.5%	男性5.9%、 女性9.3%		男性 5.1%以下 女性 8.0%以下	-
自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進	睡眠時間を規則正しくとれている人の割合※1	保健センター	85.9%	86.2%		86.4%	-
自殺対策の観点を踏まえた生きる支援の取組の推進	自己肯定感のある子どもの割合※1	学校教育室	小学6年生 79.1% 中学3年生 65.6%	未実施		小学6年生94.8% 中学3年生91.4%	新型コロナウイルス感染症の影響により「全国学力学習状況調査」が中止になったため、未実施となった。
遺された者への支援	自死遺族向けリーフレットの設置箇所数	地域保健課	1箇所	5か所		5箇所以上	令和元年度に達成済。

※1 計画策定時の指標については平成26年度の数値